



健康経営とヘルスリテラシーの高い社員育成

●SNBL 健康経営宣言

新日本科学の社員の使命は、『創薬と医療技術の向上を支援し、人類を苦痛から解放する事』であり、その使命を実現するためには、社員自身が職業生活の全期間を通して健康な状態で働く事が何よりも大切であると考えております。経営トップが CHO を兼務し、「わたしも幸せ、あなたも幸せ、みんな幸せ」(商標登録)のスローガンを掲げ、幸せな人生には欠かせない社員の健康を守り抜くために、ヘルスリテラシーの高い社員育成とともに社員一人ひとりが効率的にパフォーマンスを発揮できる組織を構築します。

●健康経営への取組み

わが社では 2009 年から健康経営に取り組み、2016 年から経産省にて健康経営に係る顕彰制度である「健康経営優等法人認定制度」に 2017 年から参画し、8 年連続で『ホワイト 500』に選任されております。

●組織体制

CHO のもと、健康経営において解決すべき経営課題について戦略マップを作成し、その内容に基づき、経営陣・産業医・保健師・人事労務担当者が一丸となり健康経営を推進しており、健康経営推進委員会、安全衛生委員会、メンタルヘルス委員会及び保険者とも情報共有や協議を重ねる事で、健康経営の醸成に取り組んでおります。

(戦略マップ：<https://snbl.com/social/%e6%88%a6%e7%95%a5%e3%83%9e%e3%83%83%e3%83%97/>)

●制度・施策、評価・改善

健康経営推進 KPI を 10 項目(メタボ率、糖尿病リスク、高血圧リスク、脂質リスク、運動習慣割合、二次健診率、健診受診率、ストレスチェック受検率、高ストレス者割合、喫煙率)設けて、目標に向かって、経年的に施策を見直しながら改善策に取り組んでおります。

(健康経営推進 KPI：<https://snbl.com/social/%e5%81%a5%e5%ba%b7%e7%b5%8c%e5%96%b6%e6%8e%a8%e9%80%b2kpi/>)

特に、2024 年度からは、女性特有の健康課題への取組みとして、2010 年度から任意検診として導入した子宮頸がん・乳がん検診にプラスして『骨粗鬆症検診』と高齢者特有の健康課題への取組として、予防的視点も含め、60 歳以上の社員に対して『体力測定』の 2 つの施策を導入し、導入に際してはその必要性について健康教育等も実施しております。

●その他

2024 年度に新たに創設したウエルネスラウンジを利用して、外部講師による『ヨガセミナー』を実施いたしました。参加した社員からは「非常に良かった」と好評を得ており、フィジカル・メンタル両面からアプローチする事で、疲労回復やリラクゼーション効果の高いセミナーとなりました。

今後も社員のニーズを把握しながら、健康維持・増進に繋がる施策を実施してまいります。

以上